

新人漫画家 ちばてつや賞 本特集!!

「分かりやすさ」はこう作る!!

『セゾク』シリーズの宮下英樹先生がちばてつや賞受賞時の作品を自らリメイク!!

ちばてつや賞選考で、ちばてつや先生が重要視するもの、それは「分かりやすさ」!! 実は『セゾク』シリーズを連載する宮下英樹先生も、

宮下英樹

2001年、「春の手紙」でちばてつや賞大賞を受賞。累計900万部を超えた『セゾク』シリーズが2004年より連載開始。

ちばてつや賞受賞作で、ちば先生に「読みづらい」と評価を受けた一人だ。なぜ、「分かりづらさ」や「読みづらさ」が発生してしまうのか。今回はちばてつや賞受賞作について「なぜ読みにくいと評価を受けたのか」宮下先生が解説! さらに「分かりやすく」なるように先生自身がネームを描き直してくれた!

コレが宮下先生の受賞作だ!

『春の手紙』



あらすじ
祖父の夢を引き継ぎ、画家を目指す主人公・主水は、ふと立ち寄った古本屋である画集と出会う。その中にまるで自分に宛てられたような一通の手紙が挟まっていた。

当時のちばてつや先生の評価



昔思い合った老人同士の孫が同じ場所で見会い、心が騒ぐ話はなかなか面白い設定。難しいテーマを扱いながらも、主人公の気持ちを丁寧に描き、静かな感動がある。だが、セリフや演出が自然でなくギクシャクして読みづらい。



『春の手紙』オリジナル冒頭 (扉絵は除く)

話の核となる
画集に出会うまで
8ページ費やされて
いたのが..



彼は一人を
引き合わせようとする。

あの手紙は
女の子の祖母が祖父に宛てて
書いたものだと思つて。

病床の祖父に見舞いに行くと、
あの画集は自分の作品で、
昔惚れた女を
描いたものだと思かされる。

その手紙は、女の子の祖母が
書いたものと判明。

手紙に書かれた差出人が待つて
いるという場所へ行くと、画集の
女性とそっくりの女の子が..

自分と同じ名字に宛てた
ラブレターが挟まっていた。

主人公が人物画集を見つける。

『春の手紙』ストーリーの流れ

宮下先生の「ここが分かりにくい」!!

このお話は「昔思いあった老人同士の孫が、画集をきっかけに同じ場所で見会い、仲を深めていく話」なんだけど、まず、冒頭でストーリーが見えていない。普通は「画集を見つける話」が冒頭に来なければいけないのだけど、話にほとんど関係ないキャラクターとの絡みや当時描きたかった街の絵をそのまま描いてしまっている。これでは読者は何の話か頭に入らない。



今の宮下先生の
手にかかると。。

4ページに
圧縮!!

宮下先生手直し後

読み切りでは、
話の目的に
すぐ入ろう!

宮下's
チェック
ポイント

●見せたいシーンの直前に「主人公が何をするのか?」「何をさせられるのか?」を描いておくと、読者が話を飲み込みやすい。

この場合は主人公が思い出すという形で印象づける。主人公の言い出した「遺品整理」という過剰表現もその一つ。その後、「片付け終わらないでしょ」というセリフをもう1回重ねている。



●話の主題 (画集に出会う)に入るまでを4ページに収め、キャラクターと人物の背景事情がそれとなく会話と行動に表れている。

キャラクター:

- 賞を目指す主人公
- 祖父に仕草が似ている
- 日常のことに疎い
- 祖父にさほど感情がない

背景事情

- 祖父は画家
- 気難しい人
- 戦争経験者
- 入院中で死期が近い

●4ページ1コマ目に主人公の顔を入れることで画集が印象的になっている。

「分かりやすさ」をもっと知りたい人へ 宮下先生との 一問一答!

◎宮下先生にとって、「分かりやすさ」とはどのようなものでしょうか。

読者が寝起きに読んででも理解できるかどうかじゃないかな。

僕の場合だけど、小説の文章って一度読んでも理解できないときがあるでしょう。

漫画も一緒に、普通セリフは一回読んだだけでは理解できないと思うほうがいい。

だから、伝えたいことは一度じゃなく、何度も繰り返さないといけない。

一回言ったから、伝わったよねとは、思わない方がいいね。

◎「センゴク」でいえば、どのようなシーンでしょうか。

例えば、「センゴク天正記」の1話目冒頭かな。

主人公の権兵衛はとてもガサツな奴なんだけど、それを表現するのに何度もガサツなシーンを入れているんだよね。



初めてセンゴクが登場するシーン。家来を率いる大将なのに味方の陣に遅れて到着したあげく、馬のエサを食べはじめてしまう。



一部の門徒は本願寺念仏修行の道理をば本とせず学問無知の故... 敵軍を精神的に動揺させる「言合戦」のシーン。さも大層なことを叫んでいるが、味方の背中にカンニングペーパーを貼り付けて読み上げている。

冒頭で馬の餌を食べるシーンAと前にいる人のカンペを読んで言合戦をしているシーンBだね。

たぶん前者のシーンだけでは、キャラクターのガサツさに気づかないこともある。

だから、特徴的な行動を2回、3回と畳み掛けるように入れるといいと思う。

言いたいことは何度も描くように心掛けてほしいな。

◎最後に、「分かりやすさ」について悩む新人さんに一言お願いします!

新人さんでもつたないないなあってよく思うのは、物語が新しい世界に入っていく時にリアクションを一度しかやらないこと。

例えば、「センゴク」で一揆が起きるとする。そうすると「一揆が起きました!」「何?」すぐ鎮圧しろっていうのが普通の流れなんだけど、僕はいきなり「一揆が起きました!」

て言われても頭に入らないものだと思うてるんですよ。だから、本当に分かりやすくするんだしたら、一揆についてのリアクションを何度も入れる。

一揆が起きて、部下に報告を受けたときのシーンであれば、

殿「えっ? なになになに? 一揆? 一揆だど?」それはどういうことだ?

部下「あそこの住民が税の取り立てに対して怒っております」

殿「ん〜...どうしよう...ん〜...鎮圧だ」

部下「鎮圧ですか!」

殿「鎮圧だ」

部下「鎮圧ってことは、住民を撫で斬りにするということですか?」

みたいに、リアクションを繰り返して、状況を全部説明しちゃおう。

これから起こることは、苛烈なことなのか、良いことなのか、困ることなのか。一揆についても読者の受け取り方は違うから、それが良いことなのか、悪いことなのか、受け取り方を確定させてあげることが大事なんだと思う。

宮下先生、ありがとうございます! ございました!



第80回
ちばてつや賞の
締切まではもうすぐ!!
応募お待ちしております
おります!

締め切り
2月28日(木) 当日消印有効
結果発表 ヤンマガ本誌 4月発売号(予定)

応募要項

大賞 100万円	優秀新人賞 50万円	●応募資格: 年齢、経歴すべて不問! ●ページ数: 原則として、ページ数は10~50ページ以内。4コマ漫画は5~20ページ以内(10本以上)。
準大賞 70万円	準優秀新人賞 30万円	●作品内容: 商業誌未発表のオリジナル作品であればOK! ●描き方: 原則としてB4サイズの原稿用紙などに、黒インクで描くこと。また、フキダシの中のネーム(セリフ)は鉛筆で書くこと。モノログなど、フキダシの外にあるネームは、原稿用紙の上にトレーシングペーパーを貼り、その上に鉛筆で書くこと。
佳作 20万円	期待賞 10万円	●デジタル原稿: デジタル原稿の応募も歓迎です。応募の際は、使用アプリケーションを明記し、原稿データとプリントアウトしたものを同封してください。

WEBからも投稿できる! | ヤンマガHPの新人賞ページをチェック!

あて先 〒112-8001 東京都文京区音羽2-12-21 講談社 ヤングマガジン編集部 「ちばてつや賞」係
持ち込み大歓迎!! 編集部は地下鉄有楽町線護国寺駅6番出口徒歩1分 必ず電話で予約をしていただき、平日の午後にご来社ください。 TEL03-5395-3461